

平成29年度

子ども議会 答弁書

質問者 <sup>みやもと</sup>宮本 <sup>れん</sup>漣 議員（3番）

1 沼田市を発展させるための教育について

ただいまの<sup>みやもとれん</sup>宮本漣議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市を発展させるための教育についてであります。沼田市では、「こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち 沼田」を将来像とした総合計画を策定し、まちづくりを進めています。その中で、教育・文化につきましては、「未来を担うたくましいひとづくり・まちづくり」を目指し、たくましく生きる力を育む学校教育を推進しているところです。

現在、学校のICT環境を充実させるために、タブレット型パソコンの設置を推進するとともに、冷房環境の整備として、パソコン教室及び保健室については、全校にエアコンを設置してきています。

また、県が実施している「ぐんま少人数クラスプロジェクト」により、通常40人学級のところ小学校1・2年生は30人学級、小学校3年生から5年生及び中学校1年生は35人学級の少人数学級編成と

するとともに、市独自の取組として、英語教育の充実に向けて、外国語指導助手を計画的に増員するなど、教育環境の整備に努めてきていますところでは、

みやもとれん  
宮本漣議員のご指摘のとおり、まちづくりには、人づくりが何よりも大切であり、人づくりには、教育の果たす役割は大きいと認識しておりますので、今後におきましても、「教育市・沼田」としてアピールできるように、限られた予算を有効活用して、教育環境の整備に努めていきたいと考えております。

以上申し上げます、みやもとれん  
宮本漣議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 本多 克成 議員（25番）

1 道路事情について

ただいまの本多<sup>ほんだ</sup>克<sup>かつなり</sup>成議員のご質問にお答え申し上げます。

道路事情について、であります。まず、道路の拡幅・整備が必要ではについては本多議員ご指摘のとおり、裏道のような細い路地も含め、沼田市には歩道の整備がされていない道路が数多くあります。

今ある道路を拡幅したり、歩道の整備をすることには多くの費用と沿線の関係者のご協力が必要であることから、早急な整備は難しいですが、本多議員ご提案のとおりこれからの高齢化社会を見据えたり、子どもの通学等において安心安全な道路を確保するためには、整備が必要であり、関係機関などとも協議をし、改善が可能な箇所については実施に向けた検討をしたいと考えております。

次に道路整備の計画等予定されているかについては、新しくなる市役所を含めた本町通り周辺においては、街なかの活性化対策のひとつとして区画整理事業を実施しており、事業区域内の道路については拡

幅や歩道の設置など整備されることとなっております。

また、市街地の交通渋滞緩和や災害時の避難路確保など、円滑な道路ネットワークを形成し道路利用者の利便性を図るため、現在、利根実業高校北側から東に向かって環状線の道路整備を進めており、本年度末には、約400メートルの区間が完成となる予定であります。

以上申し上げまして、<sup>ほんだかつなり</sup>本多克成議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 おおはし ひろのり 大橋 弘典 議員（12番）

1 2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるドイツとの交流について

ただいまのおおはしひろのり大橋弘典議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市では、本年7月7日に、ドイツを相手国としたホストタウンとして国の決定を受け、7月20日には、ドイツフェンシング協会と「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた事前合宿」の合意書の締結が実現いたしました。

今後の取組につきましては、フュッセン市との姉妹都市交流に加え、ドイツフェンシングチームの一日も早い事前合宿の実現に努力してまいりたいと考えています。

合宿を開催することにより、市民の皆さんには、世界のトップ選手のプレーを直接見ることができるとともに、交流会やフェンシング教室等を通じてドイツの言語、文化、習慣に触れていただくことができると考えています。また、ドイツフェンシングチームの皆さんには、日本の言語、文化、習慣に触れていただくことができると考えていま

す。これが、スポーツ振興はもとより、異文化交流を進めることにより、国際理解を深めていただく絶好のチャンスと捉えています。

今後、<sup>おおはしひろのり</sup>大橋弘典議員からいただきました大変素晴らしい提案を参考に、具体的な取り組みを検討してまいりたいと考えております。

また、ドイツフェンシングチームの皆さんに最大限の「おもてなし」ができるよう、市民の皆さんのお力をお借りしたいと考えていますので、その際は、ここにいらっしゃる議員の方々にも先頭に立ってご協力をお願いしたいと思います。

以上申し上げます、<sup>おおはしひろのり</sup>大橋弘典議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

## 1 マイナンバー制度とゴミ対策について

ただいまの<sup>すずき</sup>鈴木<sup>ことり</sup>琴里議員のご質問にお答え申し上げます。

はじめに、マイナンバー制度について、であります。マイナンバーは、公平な社会の実現、国民の利便性の向上、行政の効率化を目的に導入されたもので、利用範囲は社会保障、税、災害対策の3つの分野に限定されているため、小中学生のうち、身分証明書として利用できるものの、ご自分で使う機会はほとんどないかもしれません。

しかし、高校生・大学生になって、アルバイトをするときに、本人のマイナンバーが必要になると思われれます。今後、マイナンバーの利用範囲が拡大されれば、子どもでも利用する場面が増えていくと考えております。

次に、ごみ対策についてですが、平成28年度は年間で19,444トンのごみを処理しています。特に8月の処理量が多く1,950トンとなっており、みなさんが食べるスイカなど水分の多いごみや、

ペットボトルや缶など、飲み物のごみが多くなることが要因と思われます。水分の多いごみが増えると焼却するにも大量の燃料が必要になりますので、市では、生ごみの水切りの推進や、生ごみ処理機の購入補助など、ごみの総量を減らす取り組みを行っております。

次に、資源ごみを再利用することによる効果についてであります。資源となる紙類やペットボトル、缶、びんなどを再利用することでごみの減量化につながるとともに、温室効果ガスの削減や、樹木の無駄な伐採を防ぐことができ、環境保護の効果も得られます。

またペットボトルは、作業着などの衣服に、缶もまた、自動車の部品などに生まれ変わるなど、それぞれの資源として生かされています。

本市としましても、今後もいろいろなごみの減量化対策に取り組んで参りたいと考えておりますのでご協力をよろしくお願いいたします。

以上申し上げます。 すずきことり鈴木琴里議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 <sup>しみず</sup>清水 ころこ 議員（6番）

1 私たちと障害のある方が共に生きてゆくために

ただいまの<sup>しみず</sup>清水ころこ議員のご質問にお答え申し上げます。

私たちと障害のある方が共に生きてゆくために、についてであります。障害のある人もない人も、誇りをもって、心豊かで幸せな生活を送ることができる社会を築いていくことは、大変重要なことでもあります。

そのため、多くの小・中学校においては、総合的な学習の時間などにおける福祉の学習において、車椅子体験や点字・手話教室などの体験学習や、障害のある方などによる講演会を実施するとともに、沼田特別支援学校と隣接する沼田東小学校では、諸行事において、子どもたち同士が共に活動し、助け合いながら交流を深めていけるようにしております。

<sup>しみず</sup>清水ころこ議員のご指摘のとおり、沼田市として、小学生を対象とした講演会等を開催し、障害について理解を深めることは、大変重

要なことであると考えており、既に、体験学習や講演会等を実施している学校もあるため、各校の工夫された取組を紹介することにより、それぞれの学校において、さらに、福祉にかかわる学習活動を充実していけるように、指導してまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、清水<sup>しみず</sup>こころ議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

## 1 市民の健康管理について

ただいまの<sup>よこやま</sup>横山<sup>なお</sup>奈央議員のご質問にお答え申し上げます。

市民の健康管理についてであります。市では、40歳以上で国民健康保険に加入している人や、75歳以上で後期高齢者医療保険に加入している人は健康診断を無料で受診していただいております。

また市では、胃がん、<sup>しきゅうけい</sup>子宮頸がん、<sup>にゅう</sup>乳がん、<sup>だいちょう</sup>大腸がん、<sup>ぜんりつせん</sup>前立腺がん、<sup>はい</sup>肺がんの6種類のがん検診について、これらにかかる健診費用のうち、受診する皆さんからは、10%分だけ個人負担していただき、健診を受けられることになっております。

なお、生活保護を受給されている経済的に厳しい方については、健康診断のほか、先ほど申し上げました6種類のがん検診についても、無料で受けられるようになっております。

死亡原因の多くは、がん、心疾患、脳血管疾患といった生活習慣によるものですので、多くの市民に気軽に受診してもらえよう、今後

も周知に努めていきたいと考えております。

以上申し上げます、<sup>よこやま なお</sup>横山奈央議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 <sup>いしくら</sup>石倉 <sup>たいが</sup>大雅 議員（24番）

1 ミサイルの飛来に備えた避難訓練の実施について

ただいまの<sup>いしくら</sup>石倉<sup>たいが</sup>大雅議員のご質問にお答え申し上げます。

ミサイルの飛来に備えた避難訓練の実施について、であります、  
8月29日の5時57分頃、弾道ミサイルが北朝鮮により発射され、  
5分後の6時2分に群馬県を含めた対象地域の12道県に「建物の中、  
または地下に避難して下さい。」というメッセージのJアラートが作  
動し、その4分後に北海道上空を通過しました。

ミサイルに対する避難は、Jアラート等の情報を得た時点で瞬時に  
行わなければ間に合いません。

また、避難する場所は、強固な建物の中や地下が良いとされていま  
すが、市内の鉄筋コンクリート造り等の強固な建物は、飛来時間によ  
り避難できない場合もありますので、情報を得た場合は「建物の中で  
窓から離れた場所に避難する。また、避難できる建物がない場合は身  
を低くし頭部を守る。」などの避難行動を市のホームページで皆さん

にお知らせしております。

ミサイル飛来に備えた避難につきましては、実際は、一刻を争う事態で、落下物の予測も不可能であり、各自が所在する場所等により状況が異なるため、地震などの災害と違い、決められた避難場所への避難訓練等は現時点では非常に難しいものがあります。

今後は、「ミサイルに対する避難行動等」を皆さんと一緒に研究してまいりたいと思います。

以上申し上げます、<sup>いしくらたいが</sup>石倉大雅議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ちかおか としき  
近岡 利輝 議員（2番）

1 沼田を発明の町にすることについて

ただいまの<sup>ちかおかとしき</sup>近岡利輝議員のご質問にお答え申し上げます。

はじめに、<sup>ちかおか</sup>近岡議員には、9月に開催いたしました「沼田市発明くふう展」にご出品いただき、ありがとうございました。

さて、沼田を発明の町にすることについて、であります、日本は「モノづくりの国」と言われ、ちょっとした発想や創意工夫で産業を発展させてきました。

<sup>ちかおか</sup>近岡議員おっしゃるとおり、沼田の人が発明に興味を持ち、様々な分野で発明品が生まれることは、本市の産業の活性化につながっていくものと考えております。

たとえば、利根実業高校の食品文化コースの生徒さんが開発して、今や本市の名物となった「えだまメンチ」。その製造の課題であった枝豆のサヤ剥き<sup>む</sup>の手間を解消するため、今度は機械コースの皆さんが工夫して、サヤ剥き機<sup>む</sup>を開発し、群馬県テクノフェアーに出品され最

優秀賞を獲得されています。

沼田を元気にしていくためには、将来を担う若い人たちの新しい感覚と柔軟な発想が必要であり、皆さんには、是非、大きな夢を持って、色々なものを見て、触れて、経験していただきたいと思います。

ご提案の発明カフェや講座など、新たな発明や発想ができる場を作ることににつきましては、今後、研究してまいりたいと考えております。

以上申し上げます、<sup>ちかおかとしき</sup>近岡利輝議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 富澤 徹希 議員（18番）

1 バリアフリーについて

ただいまの<sup>とみざわ</sup>富澤<sup>いずき</sup>徹希議員のご質問にお答え申し上げます。

ご質問の中にありましたように古い施設は誰もが使いやすいバリアフリーの配慮が取られていない場合が多い傾向にあります。

施設の改修に際しては、例えば小中学校の校舎の場合では、ユニバーサルデザインによるトイレの整備を行ったり、道路の場合では、できる限り歩道の段差の解消に努めているところです。

バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方は、本市のまちづくりのための総合計画や関連する各種計画においても、施設整備の基本的な考え方として、整備の際の重点項目として定めています。

そして、大規模な改修工事の際には、バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが利用しやすい、やさしい施設に切り替えるよう工事を実施しております。

その他にも、制度や文化・情報、意識のバリアなど、様々な問題が

ありますが、啓発や制度の改正に努め、すべての人が安全・安心で住みやすいまちづくりを目指し、取り組んでまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、<sup>とみざわいずき</sup>富澤 巖希議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 藤井 夢登 議員（20番）

1 輪組坂の工事期間について

ただいまの藤井夢登議員のご質問にお答え申し上げます。

輪組坂の工事期間について、であります。輪組坂は道路名を市道  
輪組・輪久原線わくみ わくばらと言ひ、白沢町岩室地区と利根町多那地区とを結ぶ  
幹線道路であるとともに、利根沼田望郷ラインの一部として、利根・  
白沢地域の観光振興や沼田インターチェンジへの通行の利便性の向上  
などを目的に、合併前の旧利根村時代の平成8年度から、村の代わりに群馬県が事業を行う過疎代行事業として、延長1,670メートル  
の拡幅改良工事を行っているものであります。

工事区間は、片品川の河岸段丘の上と下を結ぶことから急斜面で険  
しい地形であり、また、元からある道路の通行を確保しながら工事を  
進めなければならないことから、工事内容も複雑で難しいものとなり  
事業期間が長くなってしまいましたが、ルートの見直しやコストの縮  
減、また、国の補助も受けて行っている事業であることから国の予算

確保など事業を行っている群馬県の努力によりまして、昨年度末での進捗率は、輪久原工区で98パーセント、輪組工区で79パーセントまで工事が進みました。

工事の完成についてであります。これから冬になり、雪などの影響で遅れてしまう部分が出るかもしれませんが、平成30年3月末には完成となる予定で現在工事を進めております。

以上申し上げまして、<sup>ふじいみんと</sup>藤井夢登議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者      あらい      まさと  
                 新井      正人      議員（14番）

1 沼田市の過疎化問題について

ただいまの<sup>あらい</sup>新井<sup>まさと</sup>正人議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の過疎化問題について、であります。本市における出生の動向は、平成17年度には459人であった出生数が、10年後の平成27年度では300人まで減少しており、今後も減少していくと見込まれております。

少子化は、結婚や出産に関する意識の変化、若い世代などの所得の伸び悩みなどによる未婚化・晩婚化の進行が原因とされています。

また少子化の影響は、労働力人口の減少によって経済が縮小することで、市民サービスの提供が困難になると懸念されます。

こうしたことから本市では、若い世代が安心して働き、希望どおり出産、子育てをすることのできる社会環境を整えるために、平成27年に策定した「沼田市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、各種事業に取り組んでおります。また、「沼田市まち・ひと・しごと創生

総合戦略」においても、人口の減少抑制・安定化並びに、持続可能な市政運営に向けて、様々な事業を実施しております。こうした取組が少子化対策につながるものと考えております。

本市の取り組みの一例を申し上げますと、若い世代の結婚を応援する事業に815万円、幼児期の教育・保育の充実を図るための事業に3億8,282万円、地域経済を活性化し、雇用拡大を図るための事業に3億3,134万円などがあります。

新井議員おっしゃるとおり、若い人たちが住みやすい、住んでみたいと思うまちづくりを、今後も市民の皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと考えています。

以上申し上げます、<sup>あらいまさと</sup>新井正人議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 しばさき 芝崎 だいき 大貴 議員（16番）

1 沼田市の教育に関する予算について

しばさきだいき  
ただいまの芝崎大貴議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の教育に関する予算についてであります。市の予算は、市政運営の基本となる総合計画に基づいて編成されます。平成29年度  
の予算総額は、235億5,402万8,000円であり、教育費は、  
全体の10.8パーセントにあたる25億5,381万円です。

教育費の内訳としては、学校関係では、現在、建設を進めている利  
根小学校校舎建築事業や、情報化社会に対応するためのコンピュータ  
機器の導入・充実、英語教育充実のための外国語指導助手設置事業、  
文化関係では、旧土岐邸洋館保存整備事業やテラス沼田へ設置予定の  
歴史資料館設置事業などがあります。

しばさきだいき  
芝崎大貴議員のご質問にありましたエアコンの設置についてであ  
りますが、保健室及びパソコン教室については、全ての小中学校に設  
置しておりますが、普通教室へのエアコンの設置は進んでいない状況

です。

今後とも、限られた予算の中ではありますが、皆さんのより良い教育環境整備に努めてまいりたいと考えております。

以上申し上げます、<sup>しばさきだい き</sup>芝崎大貴議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 <sup>みやした</sup>宮下 <sup>かほ</sup>佳歩 議員（8番）

1 沼田市の街づくりについて

ただいまの<sup>みやした</sup>宮下<sup>かほ</sup>佳歩議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の街づくりについてであります。市ではまちづくりの将来像を「こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち 沼田」とした、沼田市第六次総合計画を今年の3月に策定し、これから10年間の市政運営基本方針としています。

そこで、市街地である本町通りにおいては、かつてのにぎわいや活気を取り戻すため、土地を使いやすい形にして並び替えながら、道路を広げたり広場などを整備する土地区画整理事業を実施しています。

この事業の実施により、上之町においては文化財である「旧沼田貯蓄銀行」が移築整備され、今年の3月から8月まで「ブラタモリ展」が開催されるなど、市外からの観光客をはじめとして多くの人を訪れております。さらに、沼田公園内にある「旧土岐家住宅洋館」や「旧沼田教会<sup>きねん</sup>記念会<sup>かいどう</sup>堂」の2つの文化財を上之町に移築する予定であり、

これらの文化財が集まることにより、沼田市の歴史や文化に触れあう機会が増え、多くの人を訪れ、にぎわいや活気が戻ることを期待しています。また、下之町においては、市の庁舎を移転するとともに、子どもからお年寄りが利用できる市民活動施設や商業施設などが入る「テラス沼田」を整備しています。

これらの施設等が整備されることにより、県外や外国からたくさんの人々が沼田市を訪れ、誰もが住みたいと思えるような街に再生したいと考えています。

以上申し上げまして、<sup>みやしたかほ</sup>宮下佳歩議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 小館<sup>こだて</sup> 甲英<sup>こうえい</sup> 議員（21番）

1 利根沼田地区の高校教育について

ただいまの小館<sup>こだて</sup>甲英<sup>こうえい</sup>議員のご質問にお答え申し上げます。

利根沼田地区の高校教育について、であります。小館<sup>こだて</sup>甲英<sup>こうえい</sup>議員のご指摘のとおり、本市においても少子化が進行しており、市内中学校3年生の生徒数は、平成29年度には467人でありましたが、平成37年度には335人と推計されます。

また、平成28年度の市内中学校3年生の利根沼田管外の高校への進学率は24.6%であり、約4人に1人が、利根沼田管外の高校へ進学している現状があります。

このような状況の中、利根沼田地区の高校につきましては、北毛地区において長い歴史と伝統をもち、地域コミュニティの核としての役割を果たしており、地元の子どもたちは、地元で育てる環境づくりが重要であると認識しております。

そのため、市内の高校教育の今後につきましては、地元関係者のご

意見をお聞きかせいただきながら、利根沼田地区の子どもたちにとって、こういった高校が魅力ある学校なのかなどについて、十分に協議を重ねる中で、地元の理解と合意を得ながら、県に働きかけていくことが重要であると考えております。

以上申し上げまして、小舘<sup>こだてこうえい</sup>甲英議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 むらまつ いずみ 村松 和泉 議員（7番）

1 沼田観光名所 沼田城の再建について

ただいまのむらまつ いずみ村松 和泉議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田観光名所 沼田城の再建について、であります、昨年NHKで放送された「真田丸」で、「沼田」という地名は広く日本中に知られるようになり、多くの観光客に訪れていただきました。村松議員ご提案のとおり、沼田城が再建できた場合には、多くの観光客が訪れることにより、市にとって非常に大きな経済効果があると考えられます。

しかしながら、沼田城再建には多くの費用が必要になりますので、すぐに実現することは難しいと思われませんが、市では現在、考古学の専門家達を委員とした沼田城趾調査専門部会を発足し、学術的な発掘調査を進めて沼田城址の全体像を明らかにし、文化財としての価値をはっきりとさせることを優先し、その結果を踏まえて今後の整備方針を決めていきたいと考えています。

以上申し上げます、むらまつ いずみ村松 和泉議員のご質問に対する答弁とさ

せていただきます。

質問者 うしぐち じゅり  
牛口 珠里 議員（23番）

1 沼田市の食について

ただいまの<sup>うしぐち じゅり</sup>牛口珠里議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の食について、であります。本市では平成21年度から市外居住者を対象に、地元の方々にお手伝いをいただき「田舎体験ツアー」を実施しております。

田植えから稲刈りまでを体験する「田んぼ編」、大根やとうもろこしなどの野菜の種まきから収穫までを体験する「親子で農業編」、現代では日常的に利用する機会がほとんどなくなった、かまどやいろりを使い、様々な地元の食材で料理体験をする「スローフード編」があり、開始から現在まで延べ2,000名を超える方々に参加いただいております。

これらのツアーに参加いただくことで、本市の美しい自然、食をとおして、お手伝いいただく地域の方々とふれあうことにより、沼田市の魅力を肌で感じていただき、沼田市のファンになっていただい

ているものと考えております。

また、議員ご提案のとおり2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックでは外国人観光客の増加が予想されますので、外国人の皆様にも各種の体験ツアーに参加していただき、そこでの体験で得られた感動や本市の素晴らしさをインスタグラムなど、SNSから広く全世界に発信していただくなど、外国人観光客がスムーズに田舎体験ツアーへ参加していただけるよう工夫していきたいと考えています。

以上申し上げます、<sup>うしぐち じゅり</sup>牛口珠里議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

## 1 ゴミの減量化のアイデアについて

ただいまの鳥羽咲恵議員のご質問にお答え申し上げます。

平成27年度の群馬県の1人1日当たりのごみ排出量は1,031グラムとなり、全国の47都道府県の中で45位、ワースト3位となっています。沼田市の1人1日当たりごみ排出量は、1,123グラムで、群馬県内35市町村の中で27位と、成績はふるいません。

このように、本市でも多くのごみが排出されていますが、ごみの減量化対策としては、その頭文字から三つのR、ごみを減らしたり出さないようにする「リデュース」、ものを繰り返し使う「リユース」、いらなくなったものを原材料にして、同じ種類のものや他のものを作る「リサイクル」、のスリーアール活動を進めていくことが、重要な取り組みであると考えております。

また燃やせるごみの中には、紙類やペットボトルのラベルなど資源となるものが多く含まれていますので、これらの分別徹底と生ごみの

水切りの推進、さらに長野県でも取り組んでいる食べ残しを減らすための「さんまる・いちまる運動」などの取り組みも進めております。

このような取り組みを実施するためには、市民一人ひとりの協力がとても重要ですので、広報紙やホームページなどで繰り返して市民のみなさんに広く呼びかけております。

本市としましても、長野県などの事例も参考にしながら、今後いろいろなごみの減量化対策に取り組んで参りたいと考えておりますのでご協力をよろしくお願いいたします。

以上申し上げます、<sup>とばさきえ</sup>鳥羽咲恵議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

## 1 沼田市の将来について

ただいまの<sup>ひきめすぎか</sup>墓目涼華議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の将来について、であります。日本は、諸外国に例を見ないスピードで、少子高齢化が進んでいます。急速に進行する少子化は本市も例外ではなく、今年4月に市内の小学校に入学した児童は336人で、3年前の平成26年度に入学した児童よりも60人以上減っています。また、5年後の平成34年度に入学する児童数は、300人となることが予想されています。

こうした人口減少は、<sup>ひきめ</sup>墓目議員おっしゃるとおり、町に元気がなくなり、社会や経済に大きな影響を与えています。

このため、本市では「沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少を<sup>おさ</sup>抑えるため、若い人が安心して働き、結婚・出産・子育てが出来るような取り組みを進めています。

また、今後10年間の沼田市の取り組みの基本となる「沼田市第6

次総合計画」が今年度から始まっており、『こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち沼田』を将来像として、『ものの豊かさ』よりも『こころの豊かさ』を大切にし、誰もが暮らしやすく、一人ひとりが輝くまちづくりを市民の皆さんとともに進めていきたいと考えております。

以上申し上げまして、<sup>ひきめすずか</sup> 梶目涼華議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 　いつき　はやた  
齋　　颯太　議員（17番）

1 「沼田市のリサイクル活動について」

ただいまのいつき　はやた  
齋　　颯太　議員のご質問にお答え申し上げます。

齋議員が通っている薄根中学校では、PTAと生徒が主体となって、年に2回の「<sup>ゆうかぶつ</sup>有価物集団回収事業」に取り組み、地域と共にリサイクル活動を積極的に行い、ごみ減量化や資源の有効活用に努めていただいていることに深く感謝申し上げます。

さて、「沼田市のリサイクル活動について」であります。本市では、分別収集の周知徹底や<sup>ゆうかぶつ</sup>有価物集団回収奨励事業を推進することにより、市民のみなさんの資源リサイクルへの意識を高めていただくとともにごみの減量化を推進しております。

また、これまで「ごみ」として処分していたものも「資源」として活用するため、回収品目を増やすとともに、広報紙や回覧などのほか、携帯電話アプリを活用するなど、周知方法にも工夫をしております。今後は、燃やせるごみの中に含まれるたくさんの紙類、例えばお菓子

の箱など、資源となるものの分別をさらに徹底していただきたいと考えております。

薄根中学校のリサイクル活動で回収量が減ってきているとのお話がございましたが、商品の包装やパッケージの工夫などにより資源ごみ自体が減少する傾向にあることに加え、市民のみなさんのリサイクル意識が向上し、スーパーのリサイクルボックスを利用したり、資源としてごみステーションへ排出するなどの積極的な取り組みが大きな成果を上げていると考えております。

沼田市では、平成27年度から市役所など市内8カ所に設置した回収ボックスで携帯電話やデジタルカメラ、電源ケーブルなどを回収する小型家電リサイクルに取り組んでおり、2020年東京オリンピック・パラリンピックのアスリートに贈るおよそ5,000個のメダルを、小型家電から抽出したリサイクル金属で製作する「都市鉱山からつくる みんなのメダルプロジェクト」にも参加しています。このプロジェクトは、資源の有効活用によって持続可能な社会を築くシンボリックな事業ですが、これからの社会を担っていく皆さんひとりひとり

の努力によって初めて実現する大きな目標でもあると考えております。

以上申し上げます、<sup>いつき</sup> 齋 <sup>はやた</sup> 颯太議員のご質問に対する答弁とさせ

ていただきます。

## 1 沼田市の将来の計画について

ただいまの阿部穂乃花議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の将来の計画について、であります。昨年のNHK大河ドラマ「真田丸」の放送によって、多くの人に「沼田」という地名を知っていただき、たくさんの観光客に訪れていただきました。

この全国的に高まった知名度を更に高めるため、「天空の城下町 真田の里 沼田」を新たなキャッチコピーとして、本市が「真田の里」であることを広く全国に発信していくことが必要であり、沼田城の復元は大変効果的なものであると思います。現在、考古学の専門家を委員とした沼田城趾調査専門部会を発足し、学術的な発掘調査を進めており、天守閣などの位置の確定や文化遺産としての価値をはっきりさせ、その結果を踏まえて今後の方針を決めていきたいと考えています。

また、現在改修工事を進めています「テラス沼田」は、市役所のほ

か、市民交流施設や商業施設が入るなど、子どもからお年寄りまで幅広く利用できる中心施設となるよう整備しております。このテラス沼田の中に、歴史資料館を設置する予定であり、小・中学生をはじめとする市民や沼田を訪れる観光客など、多くの人たちに沼田の歴史を知っていただきたいと考えております。

今後10年間の沼田市の取り組みの基本となる「沼田市第6次総合計画」では、「こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち 沼田」をまちづくりの将来像としており、これを実現するためには、市民の皆さんの協力が必要不可欠となります。阿部議員おっしゃるように、「自分達にできる小さなこと」の積み重ねが、もっとすてきな沼田になっていくと考えておりますので、今後ともご協力をお願いします。

以上申し上げます。阿部穂乃花あべ ほのか議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 <sup>かねこ</sup>金子 <sup>たいしん</sup>大伸 議員（13番）

1 観光客減少を防ぐための、これからの街づくりについて

ただいまの<sup>かねこたいしん</sup>金子大伸議員のご質問にお答え申し上げます。

観光客減少を防ぐためのこれからの街づくり、交通の便について、  
であります。本市は、周囲を山々に囲まれた沼田盆地の中で、日本  
一と言われる河岸段丘上に市街地が形成され、市の中心部と周辺地域  
を結ぶ道路網は放射状に伸びており、通勤や通学、病院への通院など、  
日常生活を支える路線バスの運行距離と乗車時間も必然的に長くなら  
ざるを得ませんでした。

環状線に巡回バスをとのことですが、環状線が全線開通し、その本  
来の機能が発揮されたところで、市内循環線として運行することが効  
果的と考えております。利根中央病院の移転に伴い新たに沼須線を運  
行するなど、バス路線の見直しを行ってまいりましたが、今後は、テ  
ラス沼田への市役所移転や街なかの整備状況なども見極めながら、よ  
り利用しやすい運行について研究したいと考えております。

次に、沼田市の特産品を活かした施設をつくることについて、であります。本市は、内陸性の果樹栽培に適した気候と首都圏からの交通アクセスの良さから、関東一の観光農園数を有しており、多くの観光客の皆さんが本市を訪れております。中でもりんごは、群馬県一の生産面積を誇る特産品となっております。

また、長い伝統を持つ味噌まんじゅうは、近年テレビ番組等の影響もあり知名度は向上しており、地元の高校生が開発した、えだまメンチも新沼田名物として定着しつつあります。

こうした特産品を活用した施設をつくることで、知名度のある特産品を観光の集客に活かしていく考えは、非常に重要であると考えておりますので、既存の施設を利用することや、施設がなくても活用する方法など検討してまいりたいと思います。

以上申し上げます。金子大伸かねこたいしん議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 <sup>さとう</sup>佐藤 <sup>りゅうき</sup>立基 議員（15番）

沼田市の文化財、歴史的建造物について

- 1 市内小中高校生の中には、市内の文化財、歴史的建造物を知らない人が多い。そこで、歴史資料館や公民館に歴史資料コーナーを作ることを提案する。

ただいまの<sup>さとうりゅうき</sup>佐藤立基議員のご質問にお答え申し上げます。

ご指摘いただきましたように、市内小中高校生の中には、市内の文化財、歴史的建造物を知らない人もいるかと思われます。そのために、ご提案いただきました歴史資料館や公民館に歴史資料コーナーを設置することは、市内小中高校生はもちろんのこと、市民や観光客の方にも、沼田市の文化財、歴史的建造物の存在を知っていただくことができる大変有効なご提案と思われます。

また、ご指摘のように市内小中高校生に文化財等に興味を持っていただければ、文化財保護に対する認識が高まり、郷土愛が深まることなど、将来の沼田市にとっても大きなメリットを生み出すきっかけになると思われます。

そのような点を踏まえ、歴史資料館を平成31年度にテラス沼田内に設置する予定になっており、公民館等への歴史資料コーナーの設置につきましても関係課と協議・検討してまいりたいと考えております。

以上申し上げます、<sup>さとうりゆうき</sup>佐藤立基議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 たけい ひろむ 武井 大夢 議員（19番）

1 アスレチックパークの建設について

ただいまのたけい ひろむ武井大夢議員のご質問にお答え申し上げます。

アスレチックパークの建設について、であります。本市は、森林が総面積の79パーセントを占めており、豊かな森林資源に恵まれています。森林は、木材を供給するだけでなく、飲み水の確保や災害の防止など多くの機能を有しており、大切にしていかなければならないと考えております。

こうしたことから、森林を守る人を育てたり、森林を守る意識を持ってもらうことなどの取り組みとともに、新たな建築資材の開発など、豊富な森林資源の活用についても取り組んでまいりたいと考えております。

武井議員ご提案にありました、アスレチックパークの建設は、地元資源の活用や、観光客の増加や市民の健康保持などに効果が期待されますので、今後研究をしてまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、<sup>たけいひろむ</sup>武井大夢議員のご質問に対する答弁とさせ

ていただきます。